

# 土・まち・みどり

通信第 10 号

2002. 12. 17

発行 土とみどりを守る会

連絡先 3718-8558 (柳島)

CONTENTS ◆夏のつどいレポート ◆おくさわ今と昔 ◆ 2002 年度街並み選奨・推奨樹木発表  
◆グリーンサムのお庭拝見 ◆大ケヤキのある散歩道 ◆会からのお知らせ

ちよっと遅くなりましたが夏のつどいレポート

## 奥沢まちなみウォッチング総集編

## & ミニライブ

9月8日に、土とみどりを守る会の夏のつどいが奥沢東地区会館で開かれました。

第1部は、つどいでは初めてのライブで、元ザ・ヴィレッジ・シンガーズのリードギター小松久さんと、近内進さん、小松有子さんの3名による演奏でした。最近のリバイバルでよく耳にする名曲「亜麻色の髪の乙女」を始めとして、「いつまでもいつまでも」、「想い出の渚」、解説を交えて洋楽の「You have gonna the friend (キャロル・キング)」、「Wonderful Tonight (エリック・クラプトン)」の歌と演奏に、時の経つのを忘れませんでした。ご自分の青春時代とグループサウンズの時期が重なる方は勿論のこと、私も歌詞カードを見ながら歌って楽しい時を過ごしました。それぞれが歌に思い出を重ねて、優しく懐かしい気持ちになれたひとときだったと思います。

つづく第2部では、3回にわたって行った、奥沢1丁目～5丁目までのまちなみウォッチングの際のアンケートを参考に選んだ「推奨樹木」と「街並み選奨」に推したい場所の写真をスライドで映しながら、近藤さんから説明がありました。奥沢のまちの良さを再発見なさった方もいらっしゃるでしょう。

終了後には、御希望の方にチェリーセージの苗をお分けしました。

(柳島)



ミニライブ風景



Y. Komatsu

H. Komatsu

S. Konnai

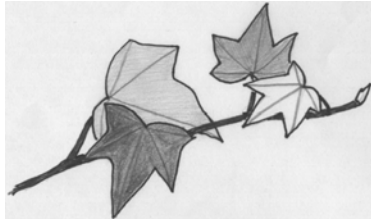


町並み選奨より、2丁目33-2、旧「海軍村」の黒井邸



推奨樹木より、3丁目16-2のなんきんはぜ

# おくさわ今と昔



## 奥沢懐旧

奥沢2丁目  
畔柳恒春

奥沢に移ったのは大正15年3月末で、76年昔のことである。小学校6年生になる時で、中学受験までの一年間原宿の小学校に電車通学をした。従って今日思い出を語り合える友達もなく、往時の記憶はおぼろげに残っているに過ぎない。

地名は当時の東京府荏原郡玉川村大字奥沢字沖の谷から東京市世田谷区玉川奥沢町1丁目、つづいて東京都に変わり、さらに奥沢2丁目となって、その後現在の住居表示となった。巷間奥沢といえば海軍村のあった所といわれるが、海軍士官の家が比較的多かったためであろう。私の父も海軍士官であった。関東大震災後、東京市内に貸家が少なく、東京勤務の士官が住宅に難渋したので、海軍当局が低利の貸付で持ち家を奨励する制度を設け、一方海軍大学の目黒移転の計画もあり、地価も程々であり、交通の便も相まって奥沢が選ばれたのではないかと。当時2丁目の海軍村には30数戸程あったが、戦災や移転などで現在は15戸程になっている。

当時は家並も少なく、現在奥沢動物病院のある辺り一帯が一面雑草の原で、駅から我が家の屋根が眺められた程である。我が家の周囲は一面麦畑でひばりの鳴き声も一日中聞かれた、反面春先の風の激しい日には座敷の畳が砂埃と共に吹き上げられることもあった。竹林も多く、美味しい筍が食膳に上がることも多かった。お医者様も二軒位しかなかった様に思う。郵便局も地元の原武雄氏が局長で、初めてお米屋の近くにできた。

道路の区画整理が出来なかったため、水道・ガスもなかった。井戸水を手押し又は電力のポンプで屋根の上の貯水タンクに汲み上げ、水道の代わりに使った。ガスの代わりは電熱コンロや石油コンロであった。電話は昭和5、6年頃に通じた様に思う。交通機関は目蒲線だけであったが2～3年位経って東横線、つづいて大井町線が通じ、便利になった。緑が丘駅は始め中丸山と称していた。現在の一色電機の隣に夏はかき氷、冬は焼き芋を売る店があり、その後主人が車で人力車の立て場を持っていた。

終わりに私は2～3年来庭に小鳥の巣箱を設け、シジュウカラのひなの巣立ちを楽しんでいるが、奥沢にこのような環境が保たれることを願うものである。

このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方と新しく移ってきた方々など、毎回2人の住民の方が登場し、このまちにちなんだエピソードを語っていただきます。

## 奥沢住人になって

奥沢2丁目  
新田美枝子

奥沢に移り住んで12年目の冬を迎えます。当時、自然の多い千葉に住んでおりましたが二人とも、職場が東京でしたので何の不安もありませんでした。越してすぐ右も左も分からず道行く人に尋ねながら、4才・1才の娘を自転車に乗せ、あっちの神社、こっちの公園と梯子をして一日を過ごした日が昨日の様に思い出されます。美しい桜並木の緑道、夏の陽射しを遮ってくれる椎の大樹のある神社、銀杏がたわわに実るイチョウのある寺と、季節を感じながら走ったものです。

奥沢にも慣れ、下の子が小学校に入ると同時に犬を飼いました。毎日2回散歩をするのですが、いつの間にか私の仕事になってしまいました。2丁目しか知らなかった私の行動範囲も広がり奥沢はもちろんのこと、緑が丘・中根・都立大迄足を延ばす事となりました。地理も詳しくなりましたが、人との出逢い、新築工事の様子、季節の移り変わり等、毎日小さな発見があります。

路地を入るとどのお宅にも庭木があり、花・植木鉢が並び、垣根も手入れがしてあります。なんだか急に殺風景な我が家の庭が可哀相になってきました。不揃いの樹木、雑草だらけの庭が気になり、草抜き等を始めたのですが自分では手に負えず困っていた時、杉村さんに紹介して頂いて植木屋さんに毎年お願いするようになりました。お陰様で今ではキンモクセイとモミジが家を守るかのように大きく構えて落ち着きある庭になりました。植物の好きだった父母が残してくれた庭木達を枯らすことの無い様守っていくのも私の仕事なのかなと思います。この静かな緑豊かな奥沢の街並みを今日も愛犬パロンと歩きます。天迄届きそうなケヤキの下を後ろに反り返りながら下ります。この冬それぞれのお宅ではどんな花を咲かせてくれるのか楽しみです。きっと来年もこの道をパロンと歩いています。やっと奥沢住人になれたようです。



奥沢2-33の  
柘田邸と  
海軍村跡の石碑

# 第1回 街並み選奨15件・推奨樹木21件の発表！！

## 街並み選奨

### 1丁目

55 - 1 鷺見さん

大正末期と思われる当時の代表的な西洋館。奥沢の歴史と文化を感じさせる。

21 - 6 甲府方さん

祠の前面に道路に沿ってシラカシの防風林が独特の造形を示す。奥に屋敷林と江戸時代の住宅が現存する。

5 - 15 タウンハウス

優れた建築計画。この種の開発に参考となる好例。コモンスペースとしての中庭が生きている。

### 2丁目

33 - 2 黒井さん

大正末期の近代住宅、インテリアも良く保たれている。海軍村の貴重な姿をとどめる。

32 - 6 渡辺さん

住まいと庭の構成、道への広がりも素敵である。段状の花壇の扱いも楽しい。

30 - 5 平井さん

和風の住宅として80年余りの時を刻む。前庭の5本のシュロの木と共に風格あり。

### 3丁目

18 - 3 神部さん

2棟の日照に配慮したかと思われるが、南棟をサンクンガーデンとして道路からの景観とプロポーションに優れた設計。銅板屋根と植込みが美しい。

### 4丁目

22 - 11 田中さん

手入れの行き届いた、丁寧な作りの歴史を刻む洋館。

21 - 8 鷺山さん

縦長の窓のリズムが快い洋館。道路に沿った植え込みのバラと風雪を経た建物の調和が美しい。

23 - 16 ~ 5 生け垣

100m位の長さに渡り続く3軒にまたがる同質の美しい生け垣。極めて貴重な例。

7 - 12 山口さん

ピロティ、屋上庭園、前庭の土を生かした扱い、街並みへの意識が設計に感じられる。

29 - 14 内井さん

個性的なデザイン、落ち着いた風合いの洋風住宅が庭の木立と調和し、年齢を感じさせる。

### 5丁目

17 - 17 棚橋さん

水平線を基調とした品格のある建物デザイン。生け垣の巧みなバランスと共にセンスの良さが光る。

7 - 3 中村さん

風流な日本的庭園と野趣を覚える木立の景観が印象深い。

10 - 13 安孫子さん

3階建ての洋館。改修が加えられているが存在感があり歴史を感じさせる。

## 推奨樹木

### 1丁目

12 - 08 柳瀬さん

もみじ

24 - 14 マンション

けやき

25 - 07 橋田さん

さくら

57 - 02 荒井さん

さくら

### 2丁目

17 - 08 石黒さん

ヒマラヤ杉

23 - 21 近藤さん

けやき

28 - 07 神谷さん

けやき

29 - 15 藤田さん

もみじ

30 - 05 平井さん

すだじい

31 - 23 関さん

やまもも

39 - 01 中島さん

さるすべり

40 - 12 パークハイム自由が丘

けやき

### 3丁目

16 - 02 川口さん

なんきんはぜ

37 - 06 谷岸さん

すだじい

44 - 03 中山さん

ひば

### 4丁目

11 - 12 鶴原さん

けやき

11 - 18 原さん

かき

25 - 13 坂内さん

さくら

33 - 04 立沢さん

すだじい

### 5丁目

11 - 02 有田さん

さくら

36 - 26 吉田さん

さくら

「街並み選奨」は多くの方々が奥沢の1丁目から5丁目までの街並みをウォッチングして観察した中から、街並みに優れた効果を与えている印象的な住まいや木立などに注目し、これらの良い点をアピールしてみなさんの関心を高め、街並み意識の向上に役立てたいとするものです。こうした良い例から何かを汲み取って頂ければとの思いもあります。環境プランへの基本的な取り組みです。”推奨樹木”は同じような方法で街並みに特に潤いを与えている風趣のある樹木を選び出したものです。かつては街が生活空間としてのまとまりを持ち、人々は自分の住んでいる場所に親近感を覚えると共に愛着を感じていました。しかし街は当然のごとく時と共に移り変わっていきます。なかんずくこの数年の変わり様は激しい。その結果、街の持つ生活空間としての雰囲気は急速に失われつつあります。緑の減少、特に大きな樹木が伐採されてゆく状況は目を覆いたくなります。住まいの建て替えや集合住宅などの建設は必然としても、環境が過去との連続性を全く絶ったものになってしまうのは街として薄っぺらなものにしかありません。その生活に潤いと彩りを与えるものは何をおいてもそこに住む人達の自発的な意識であり、そのことは文化的な営みにつながることです。(近藤)

## グリーンサムのお庭拝見 Vol.9

中国の音楽が静かに聞こえてくるのでそっと垣根の中を覗くと左右に動いている人が見える。今回は水曜日と金曜日に太極拳を指導していらっしゃる2丁目30番地の平井家を訪問します。玄関先で迎えてくれるのは丸刈り込まれた金木犀、スタジイ、屋根まで届いている5本のシュロです。庭へ入ると樹齢70年以上の苔のついたスタジイ、赤松、根引き松、モミジ、左に白木蓮と2本の梅が築山と見事に調和しています。

71輪咲いたハイビスカス、柵にからみついた時計草、植木鉢のミセバヤ、そして「武蔵野のようでしょう」といわれる石で囲まれた花壇に曼珠沙華、ススキ、側に水引き草。ここは季節季節に表情を変えながら咲く花に素敵な思い出が沢山ありそうな雰囲気漂っている所です。

「千両、万両の実には鳥に食べられてしまうのにこの実は食べないのよ」といわれて見ると枝を広げた山椒が赤い実を一杯つけているのです。後ろに甘柿、今年はじめて実が出

来た二本の栗、池の横に黄色の実をつけている花梨と秩父の神社より頂いた杉。その前には藪柑子、オダマキ、スズラン、種子をつけている鹿の子百合が静かに佇んでいます。白百合が所々に見られるのはお母様が種子をパラパラと蒔いていらしたのを奥様が見習ってなさっている結果だそうです。そして「梅雨どきの苔の緑が一番好き」といわれる苔がお庭を一層引きしめています。

一方収穫して味わう楽しみもあるのです。「豆ご飯の色はピンクなのよ」といわれるのはさやが紫色のツタンカーメンの豆のこと。花梨の実には蜂蜜に漬けて、梅の実には梅酒にしていたが今年から一度下茹でをして砂糖で煮ているとのこと。栗の実には栗ご飯です。

「これからもこの庭を維持して太極拳を指導していきたい」といわれる平井さん宅を出ると垣根の外に白百合が。パラパラと蒔かれた種子はここでもしっかり根づいていました。(遠藤)

## 「大ケヤキのある散歩道」奥沢の風景が世田谷区風景資産に選定されました!!

平成11年3月世田谷区に制定された「世田谷区風景づくり条例」にもとづき、平成14年11月9日の公開選定会で奥沢2丁目12～22番地にかけての道路が「大ケヤキのある散歩道」の名称のもと風景資産として選定されました。ここが選定されたのは、条例の趣旨が美しい景観を表彰するというだけのものではなく、そこに住む人々が推薦した風景を未来に向けて守りつづけ、その風景が地域のコミュニティづくりにつながるだろうということが選定基準だったからです。審査人が満場一致でここを選定したのは土とみどりを守る会が大切にしようと考えていることが、選定基準に合致したからだと確信しております。風景資産の選定人の方々はこの道筋に並べられたチェリーセージを、ここに住む人々のコミュニティ意識の象徴と高く評価されたようです。(長瀬)

## 会からのお知らせ

大ケヤキのある散歩道(通称・けやき道)は、シンボルツリーのあるグリーンロードという仮称のまま申請してきましたが「美しい格調のある日本語の名称に」との御意見があり、智恵を絞った結果、この正式名称になりました。

どうぞ「けやき道」の愛称で親しんで下さい。

3回にわたるまちなみウォッチングで、参加者の御協力を得て第1回街並み選奨・推奨樹木が決まりました。近日中に会のメンバーがそれぞれのお宅をお訪ねします。所有者が趣旨に御賛同下さった場合には、街並み選奨については土とみどりを守る会による選奨プレート、推奨樹木については世田谷トラスト協会作成の樹名板を取り付けさせて頂きます。

### 編集後記

1号発行から2年半経ち、土・まち・みどりが10号になりました。「読んでいますよ」というお声にとっても励まされました。皆様の温かい御協力で心から感謝しております。気が付けば今年ももう残り僅か、寒さが増してきました。どうぞお元気でよいお年を。

今年はチェリーセージのプランター18個をけやき道と並んで走る大井町線線路寄りの道筋のお宅に配りました。御協力下さいました皆様、ありがとうございました。年末迄にはもっと配れる見込みです。お訪ね申し上げた折りにはどうぞよろしくお祈りします。

次回の新春の集いは、2月2日(日曜日)午後1時半から奥沢東地区会館で開催することになりました。浦沢正恵さんによるピアノコンサートの後、今後の奥沢のまちづくりなどについて、皆で語り合いたいと思います。

土とみどりを守る会は、新年度からの会員制を目指して準備を進めてきました。このたび会則・振替口座などの用意が整い、2003年度の会員募集を開始致します。会費は年間1口1000円です。ご連絡頂ければお訪ねするか、又は払込料金加入者負担の振替用紙をお送りします。どうぞお電話下さいませよう、お待ちしております。

<振替番号00110-3-576126 土とみどりを守る会>

土とみどりを守る会 連絡先

奥沢2-19-9 長瀬雅義 5729-0126

奥沢2-41-2 柳島尚子 3718-8558